



給食たより

令和4年12月23日
白馬村学校給食センター



今年も
お世話に
なりました



早いもので2022年も終わりを迎えます。皆さんにとってどんな1年だったでしょうか？年末年始の休みは生活リズムが乱れがちですが、体調に気をつけて元気に新年・新学期を迎えてくださいね。新年も白馬村の小中学生の皆さんのたくましい心と体づくりの安全な給食づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。 センター一同

1月の取組み紹介

姉妹町【太地町・河津町】献立交流！

白馬村は、和歌山県太地町と静岡県河津町と長年の交流があります。どちらも太平洋の黒潮がもたらす温暖な海辺の町です。小学生が互いに交流し、雪国白馬との違いを体験してきました。新型コロナウイルスの影響もあり、今年は徐々に直接の交流となります。そこで、各町の特徴ある給食献立レシピを交換し合い、献立交流を計画しました。

- ・12日の河津町献立では、クチナシの実をつかった黄飯、アジ、みかん
- ・23日太地町献立では、高菜漬け、かじき鮪、紀州梅肉、ひじき（みそ汁）などを使ったメニューです。おたのしみに！

白馬村のお正月



白馬村では冬のシーズン真っ只中、忙しいご家庭も多く、なかなかゆっくりしたお正月にならないのではないのでしょうか。それでも、元日（1日）にはお節やお雑煮を食べることが多いようです。関東関西の風習が入りまじる白馬村では、お雑煮も丸もち・角もち、澄まし仕立て・みそ仕立てと、家庭によりいろいろありそうですね。

2日には「かき込んで食べて仕事に行く」「正月のごちそうを消化する」という意味で長いも（とろろ）が欠かせません。長芋の粘り気には「粘り強く」「根気強く」という縁起担ぎがあります。

15日には「おんべ」と呼ばれるどんど焼きを大事にしている地区があります。正月休みに書いた書き初めやだるま、しめ縄などをお焚き上げして、お迎えした歳神様を天にお送りする行事です。この火で焼いたおもち（まゆだまと呼ばれています）を食べると無病息災で過ごすことができるとされています。正月は、心あらたまる行事がたくさんありますね。

食の歳時記

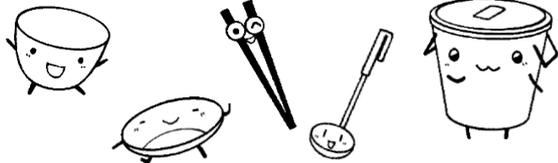
春の七草



七草とは、1月7日の朝に春の七草を入れたおかゆを食べて1年の健康を祈る風習です。
 春の七草とは、せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな(かぶ)、すずしろ(だいこん)のことで、これを包丁などで細かくたたきおかゆに入れます。七草をたたく時は「七草なずな～」などと歌う地域もあります。
 給食では、6日の縁起メニューとして登場します。

1月24日は…

【全国学校給食記念日】

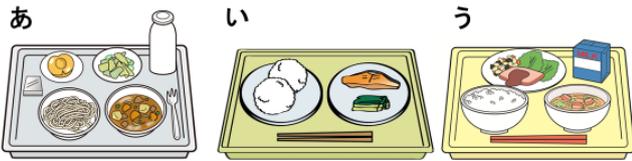


日本の学校給食は、山形県の私立忠愛小学校において貧困児を救うために提供されたことが始まりとされています。

学校給食の歴史クイズ



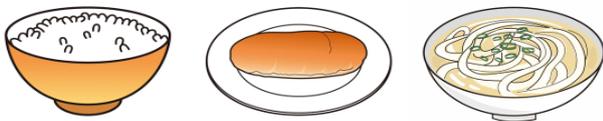
Q. 次の給食の献立と年代の組み合わせで正しいのはどれでしょう？



1. あ、明治22年頃 い、現在 う、昭和40年頃
2. あ、昭和40年頃 い、明治22年頃 う、現在
3. あ、現在 い、昭和40年頃 う、明治22年頃

出典：あ、い『平成17年版 学校給食要覧』(独立行政法人日本スポーツ振興センター)より イラスト制作：少年写真新聞社

Q. 昭和25年(1950年)頃、学校給食の主食は、おもになにを食べていたでしょう？



1. ごはん
2. パン
3. めん類

正解：2

今から130年前の明治22年、山形県鶴岡市のお寺で貧しい子どもたちのために昼食を出したことが、学校給食の始まりです。「おにぎり、塩サケ、漬物」だったということです。現在では、毎日献立が替わり、行事食や外国メニューなどもあり、時代によって変化があります。

正解：2

終戦後(今から70年ほど前)の日本は、食料が不足し栄養失調の子どもが大勢いました。そこでアメリカのララ物資やユニセフによって学校給食が再開されました。固いコッペパンと脱脂粉乳、地域によってみそ汁などがつきました。